

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 5年 8月 16日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3473100760		
法人名	医療法人社団 林医院		
事業所名	グループホーム 夕霧の家		
所在地	呉市音戸町畑三丁目20-36 (電話) (0823) 56-1202		
自己評価作成日	令和5年7月10日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigvosyoCd=3473100760-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和5年8月2日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

開放感のある居室とフロア、窓の外は瀬戸内の美しさが映える眺望。季節感を伴う行事を行い御利用者皆様の楽しみのある生活を送られるように努めております。ホームセンターやコンビニも近くにあり利用者様のお買い物支援も行い一人一人のニーズに合ったサービスを提供、地域の方々のイベントにも積極的に参加し、当法人のイベント（季節のお祭り）を主宰し御家族、地域の皆様にとっても喜んで頂いております。今後も家庭的で落ち着いた雰囲気の中で生活できるように努めていきます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

グループホーム夕霧の家の特徴的な取り組みは、母体医療法人と事業所が連携して地域と交流している点と、外国人技能実習生を含む職員間の良好な関係構築である。今年7月には医療法人が主催する夏祭りを開催し、事業所職員と地域住民が協力して催し物の準備や片づけを行い、事業所理念である地域交流を深める取り組みを実践している。ベトナムからの外国人技能実習生を受け入れているが、理解できない言語や業務での分からないことは、先輩の職員や管理者に確認することができ、職員間で協力し合う体制を整備している。

自己評価	外部評価	項目(夕霧の家1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	コロナ禍以前は地域交流を大切に定期的に小学校、地域の皆様の訪問や見学を受け、地域の行事学校行事に参加、見学をしていた。6月より再開した。	法人の理念のもとにグループホームの理念を掲げ、母体の法人を主体として地域行事を主催する中で、事業所の職員や利用者が地域住民と協力し準備や行事の運営に積極的にかかわることで理念の実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	コロナ禍以前は、積極的に参加していた6月より再開した。	地域行事の主催、地区で実施する消防訓練や地域清掃には職員が参加している。地域の情報は回覧板で得ることができ、住民とは挨拶を交わし立ち話をするなど、日常的に交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の奉仕活動、行事に参加、協力を再開している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	コロナ禍以前は、地域の利用者家族の意見を聞きサービスの向上に努めていた。	運営推進会議の開催案内を郵送し、参加者に議事録を送付している。会議では面会再開についての問い合わせや、要望が寄せられ、感染状況に応じて制限の強化や緩和を行っている。	会議開催案内の送付や、参加者への議事録送付は行われている。不参加の場合でも意見を聴取できる仕組みや、会議の趣旨の説明や利用者、家族が参加しやすい会議の持ち方、利用者、家族の意見の反映の仕方など、活発な意見交換が行える場として機能する運営推進会議の活用を期待する。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	定期的の連絡を取りアドバイスをもらい、意見交換をしている。	生活課担当者が定期的に訪問する際に、利用者の普段の様子を伝えている。運営推進会議の報告書は市の担当課へ郵送または直接届けている。制度についての問い合わせは、事業所から法人本部へ伝え、本部で取りまとめて市の担当課へ問い合わせを行っている。	

自己評価	外部評価	項目(夕霧の家1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	全職員が認識、身体拘束の無いケアに取り組んでいる。	毎月実施される事業所のミーティングや、朝礼などで、自立心の高い利用者への過剰介護や、皮膚疾患などから身体を傷つける利用者への対応について、適切な介助方法を職員間で話し合い検討することで、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている。	研修参加、ミーティング、申し送り報告職員一同細心の注意を払い防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	必要に応じて勉強会、研修を行い活用出来るように努めている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	対面での説明に心がけ、出来ない場合は電話、書面での説明を行い不明な点は直ぐに答える事が出来るようにしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	管理者、職員が声かけ、会話に努め意見、不満苦情を吸い上げ運営に運営に反映できるようにしている、利用者家族にも定期的に意見交換に努めている。	利用者の意見は、生活の中で表出される言葉を申し送りノートに記録し、職員間で共有している。家族の意見は、面会や電話連絡の際に聴取している。家族の意見は、主に利用者の処遇に関する意見が寄せられ、利用者の心身状況に応じて実現できるように努力している。	

自己評価	外部評価	項目(夕霧の家1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	ミーティング、申し送り、職場のグループライン等意見交換の場を設けている。	毎月実施するミーティングや、毎日の申し送りで職員の意見を聴取する機会を設けている。意見の申し出が難しい職員には、管理者が声をかけ個別に意見を聞くように努めている。意見を聞く機会を設けているが、職員から運営に関する意見は出ていない。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	環境の整備も会社のミーティング朝礼等の場で意見交換の場を設けている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	外部研修に参加、研修後はミーティングや、申し送り等で報告している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	外部研修に参加した際と同業者、同一地域の同業者と、意見交換や、出来る場合は行事参加もしている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	積極的に話を聞き不安を出来るだけ取り除くように努めている。		

自己評価	外部評価	項目(夕霧の家1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	定期的に連絡をとり意見交換を行い不安や疑問に答えるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	初期対応に際しニーズとウォンツの見極め相互的な対処に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	利用者と常に意見交換、会話、身の上話など積極的にコミュニケーションを取り支え合えるように努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	定期的に連絡、報告、意見交換、支え合えるように努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	地域はもとより、親戚、知人等の皆様と関係を継続できるように努めている。	利用開始前に地域に住んでいた利用者は、外出や、祭りに参加した際に、知人と交流している。専門医を受診するために、家族が通院に同行し、帰りに外食をするなど、馴染みの関係が途切れないよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目(夕霧の家1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	空気を読み利用者同士が談笑でき、又は気を使わずに済むような環境へと努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	利用が終了しても、希望により当法人系列の施設、サービスの利用も提案している。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者(御家族)との意見交換 意向の把握に常に努めている。	利用者の暮らし方の希望は利用開始時に聞き取り、思いは日々の生活の中で職員が申し送りノートに書き留め、職員間で共有している。意向の表出が困難な利用者の場合は、痛みの有無や日頃の様子から、利用者にとって適切な介助ができているかを職員間で話し合い、検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	過去の暮らし方、状況の把握、意見交換、意向の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	利用者本人の状況、情報の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目(夕霧の家1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>常に本人、御家族、職員と意見交換をし、より良い介護に反映させるように努めている。</p>	<p>3ヶ月に1度モニタリングを実施し、6ヶ月に1度計画の見直しを行っている。医師、看護師、介護職員の意見を取り入れ計画を作成している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>常に記録し、意見交換、見直しに努めている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>常に状況把握、当施設グループあげて、柔軟な支援サービスに努めている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域のインフラ、ソフトと地域と連携、状況報告、豊かな暮らしができるように支援にしている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>本人、ご家族と意見交換、希望に添いかかりつけの医療機関と連携している。</p>	<p>利用開始時にかかりつけ医について説明し、利用者、家族が希望した医師の診察を受けている。専門医へ受診する際は、家族または職員が同行し診療に必要な情報を提供している。</p>	

自己評価	外部評価	項目(夕霧の家1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	いつでも相談出来る看護師と連携している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院に際し治療に専念でき速やかに退院 本人、御家族、医療機関との連携を含み、関係づくりの支援に努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居時に、本人、御家族、主治医により、終末期における対応を話し合い明確にしている。	利用開始時に看取りの指針と緊急時重度化した場合における対応について説明し、利用者、家族の同意を得ている。過去に看取りの前例があるが、最近は母体法人の病院で看取りを希望するケースが増えている。希望者がいる場合は体制を整備し実施を検討する。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	利用者の急変時、職員の応急対応、看護師、かかりつけ医、林医院と連携できるよう対応している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	定期的に避難訓練の実施、地域との連携に備えている。	年2回の避難、救出訓練は、日勤帯の火事を想定して実施している。緊急時の職員への連絡は、一斉に伝達できるように整備し、地域住民へ口頭で協力を依頼している。地震、洪水、津波を想定した垂直避難訓練も実施し、避難にかかる時間を計測し有事に備えている。	

自己評価	外部評価	項目(夕霧の家1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	(認知症だからでなく) 個人の人格、個性、誇り、プライバシーを尊重している。	事業所では、利用者の居室のドアを閉める、可能な限り同性介助を優先するなど工夫をしている。利用者個人の生活リズムを尊重し、就寝時間は利用者自身が決めることができるように配慮している。	職員の利用者に対する言葉遣いは、常に丁寧であり、管理者が指導する場面が生じていない。利用者の個人情報に関わる記録の取り扱いや、管理について、管理者、職員で話し合い、より適切な選択ができることを期待する。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	利用者の意向に顕在化、決定できるように支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	職員、業務の効率ではなく利用者ペースに沿った日々を送れるように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	髪型、服装、化粧品、好みに合わせて支援している。訪問理容師を呼んだり、希望があれば家族対応で美容院に行かれています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	利用者と同じ食事を食べる職員もおおり、また利用者のレベルに合わせた準備、かたづけをしている。	通常は調理、冷凍された副菜が届き、事業所で温め、配膳し、ご飯と汁ものは各ユニット毎に調理している。2ヶ月に1度程度は、手作りの食事を提供し歯ごたえのある野菜を咀嚼する機会を設けている。献立には果物やそうめんなど、食から季節が感じられるように工夫している。	

自己評価	外部評価	項目(夕霧の家1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通じて確保できるよう、一人ひと りの状態や力、習慣に応じた支援をし ている。</p>	<p>栄養バランス、水分量、常に確認 個人 の嗜好に合わせて支援している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、 毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人 の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後の歯磨き、自立、支援、介護の仕 方それぞれに応じ職員が対応、確認をし ている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、 一人ひとりの力や排泄のパターン、習 慣を活かして、トイレでの排泄や排泄 の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>利用者それぞれ排泄周期、習慣を把握し 自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>日中はトイレで排泄ができるように、定 期的に声をかけることと、利用者の訴え に応じて排泄を支援しパットの使用量を 減らす工夫を行っている。排泄の自立を 支援するために、トイレまでの動線を触 覚で判断できるように確保したことで排 泄の自立を支援した実例がある。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲 食物の工夫や運動への働きかけ等、 個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>排便確認、利用者に合わせた対応、食 物、水分摂取を促し、ナースと連携して いる。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わ せて入浴を楽しめるように、職員の都 合で曜日や時間帯を決めてしまわず に、個々に応じた入浴の支援をしてい る。</p>	<p>基本的に利用者本人の希望に沿って対応 している、最低週2回は入浴支援をし ている。</p>	<p>同性介助の希望がある場合は、可能な限 り対応している。湯温や入浴時間は利用 者個人の好みにあわせ、入浴剤を利用し て色や香りを楽しめるように工夫してい る。</p>	

自己評価	外部評価	項目(夕霧の家1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	利用者、個人の習慣に添い、休息、入眠出来るような居室にしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	ナース、医師からの服薬の説明、その理解、服薬支援、確認を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	一人一人に合わせて頂く事、趣味嗜好、気分転換に備えている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	買物をご希望であれば同行、また散歩の同行もしている。	近隣のホームセンターや、コンビニエンスストアへ嗜好品の購入へ出かけたり、希望者は散歩に出ることもある。家族と通院のために外出した帰りに食事をして戻るなど、感染症を予防しながら小規模の外出ができるように支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	利用者個々の力量に合わせて対応している。		

自己評価	外部評価	項目(夕霧の家1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	年賀状、手中見舞いを書いて頂くように促す事も。希望があればそれ以外の手紙、電話の希望は御家族との相談の上、対応している。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	採光に配慮、清潔で過ごしやすいフロア、季節感のあるレイアウトにしている。	共用のトイレや、各居室が分かりやすく表示されている。共用部と調理スペースの照明は、用途により暖色と寒色を使い分けられている。窓から見える景色により季節を感じられるよう配慮している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	フロアと個人の居室、自由にくつろげるように備えている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	本人、御家族と意見交換、希望に添い居心地の良い居室になるように備えている。	電動ベッドを設置し、利用者の身体状態や、好みに応じて配置を検討している。自宅から使い慣れた机や椅子、利用者の写真や趣味の品を飾っている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	歩行訓練のできるフロア、要所の手すり、浴室の滑り止めなどの工夫をしている。		

V アウトカム項目(夕霧の家1F) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	✓	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	✓	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	✓	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	✓	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	✓	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	✓	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	✓	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	✓	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	✓	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	✓	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	✓	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	✓	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	✓	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(夕霧の家2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	コロナ禍以前は地域交流を大切にし定期的に小学校、地域の皆様の訪問 見学を受け 地域の行事学校行事に参加、見学をしていた。6月より再開した。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している。	コロナ禍以前は、積極的に参加していた6月より再開した。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の奉仕活動、行事に参加、協力を再開している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	コロナ禍以前は、地域の利用者家族の意見を聞きサービスの向上に努めていた。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	定期的の連絡を取りアドバイスをもらい、意見交換をしている。		

自己評価	外部評価	項目(夕霧の家2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	全職員が認識、身体拘束の無いケアに取り組んでいる。		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている。</p>	研修参加、ミーティング、申し送り報告職員一同細心の注意を払い防止に努めている。		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	必要に応じて勉強会、研修を行い活用出来るように努めている。		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	対面での説明に心がけ、出来ない場合は電話、書面での説明を行い不明な点は直ぐに答える事が出来るようにしている。		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	管理者、職員が声かけ、会話に努め意見、不満苦情を吸い上げ運営に運営に反映できるようにしている、利用者家族にも定期的に意見交換に努めている。		

自己評価	外部評価	項目(夕霧の家2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	ミーティング、申し送り、職場のグループライン等意見交換の場を設けている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	環境の整備も会社のミーティング朝礼等の場で意見交換の場を設けている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	外部研修に参加、研修後はミーティングや、申し送り等で報告している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	外部研修に参加した際の同業者、同一地域の同業者と、意見交換や、出来る場合は行事参加もしている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	積極的に話を聞き不安を出来るだけ取り除くように努めている。		

自己評価	外部評価	項目(夕霧の家2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	定期的に連絡をとり意見交換を行い不安や疑問に答えるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	初期対応に際しニーズとウォンツの見極め相互的な対処に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	利用者と常に意見交換、会話、身の上話など積極的にコミュニケーションを取り支え合えるように努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	定期的に連絡、報告、意見交換、支え合えるように努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	地域はもとより、親戚、知人等の皆様と関係を継続できるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目(夕霧の家2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	空気を読み利用者同士が談笑でき、又は気を使わずに済むような環境へと努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	利用が終了しても、希望により当法人系列の施設、サービスの利用も提案している。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者(御家族)との意見交換 意向の把握に常に努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	過去の暮らし方、状況の把握、意見交換、意向の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	利用者本人の状況、情報の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目(夕霧の家2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	常に本人、御家族、職員と意見交換をし、より良い介護に反映させるように努めている。		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	常に記録し、意見交換、見直しに努めている。		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	常に状況把握、当施設グループあげて、柔軟な支援サービスに努めている。		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	地域のインフラ、ソフトと地域と連携、状況報告、豊富な暮らしができるように支援にしている。		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	本人、ご家族と意見交換、希望に添いかかりつけの医療機関と連携している。		

自己評価	外部評価	項目(夕霧の家2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	いつでも相談出来る看護師と連携している。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入退院に際し治療に専念でき速やかに退院 本人、御家族、医療機関との連携を含み、関係づくりの支援に努めている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	入居時に、本人、御家族、主治医により、終末期における対応を話し合い明確にしている。		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	利用者の急変時、職員の応急対応、看護師、かかりつけ医、林医院と連携できるよう対応している。		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	定期的に避難訓練の実施、地域との連携に備えている。		

自己評価	外部評価	項目(夕霧の家2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	(認知症だからでなく) 個人の人格、個性、誇り、プライバシーを尊重している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	利用者の意向に顕在化、決定できるように支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	職員、業務の効率ではなく利用者ペースに沿った日々を送れるように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	髪型、服装、化粧品、好みに合わせて支援している。訪問理容師を呼んだり、希望があれば家族対応で美容院に行かれています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	利用者と同じ食事を食べる職員もおおり、また利用者のレベルに合わせた準備、かたづけをしている。		

自己評価	外部評価	項目(夕霧の家2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通じて確保できるよう、一人ひと りの状態や力、習慣に応じた支援をし ている。</p>	<p>栄養バランス、水分量、常に確認 個人 の嗜好に合わせて支援している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、 毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人 の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後の歯磨き、自立、支援、介護の仕 方それぞれに応じ職員が対応、確認をし ている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、 一人ひとりの力や排泄のパターン、習 慣を活かして、トイレでの排泄や排泄 の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>利用者それぞれ排泄周期、習慣を把握し 自立に向けた支援を行っている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲 食物の工夫や運動への働きかけ等、 個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>排便確認、利用者に合わせた対応、食 物、水分摂取を促し、ナースと連携して いる。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わ せて入浴を楽しめるように、職員の都 合で曜日や時間帯を決めてしまわず に、個々に応じた入浴の支援をしてい る。</p>	<p>基本的に利用者本人の希望に沿って対応 している、最低週2回は入浴支援をして いる。</p>		

自己評価	外部評価	項目(夕霧の家2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	利用者、個人の習慣に添い、休息、入眠出来るような居室にしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	ナース、医師からの服薬の説明、その理解、服薬支援、確認を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	一人一人に合わせて頂く事、趣味嗜好、気分転換に備えている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	買物をご希望であれば同行、また散歩の同行もしている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	利用者個々の力量に合わせて対応している。		

自己評価	外部評価	項目(夕霧の家2F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	年賀状、手中見舞いを書いて頂くように促す事も 希望があればそれ以外の手紙、電話の希望は御家族との相談の上、対応している。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	採光に配慮、清潔で過ごしやすいフロア、季節感のあるレイアウトにしている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	フロアと個人の居室、自由にくつろげるように備えている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	本人、御家族と意見交換、希望に添った居心地の良い居室になるように備えている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	歩行訓練のできるフロア、要所の手すり、浴室の滑り止めなどの工夫をしている。		

V アウトカム項目(夕霧の家2F) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	✓	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	✓	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	✓	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	✓	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	✓	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	✓	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	✓	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	✓	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	✓	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	✓	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	✓	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	✓	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	✓	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム夕霧の家

作成日 令和5年9月18日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	36	利用者の個人情報に関する記録の取り扱い管理。管理者、職員で話し合いより適切な選択が出来るように。	個人情報の保護に関する勉強会を職員全員で行い、今後順次適切な時期の定期的に行う。	まず9月末から数回に分けて、数人(当日出勤者)で行う。	3か月
2	4	不参加の場合でも、意見交換、会議の趣旨の説明、利用者、家族の意見の反映の仕方、活発な機能的な運営推進会議へ。	再び2ヵ月ごとに行い、参加、不参加に関わらず活発に意見交換のできるシステムの作成を目指す。	コロナ禍が今だ続く中、推進会議を行う、行わない関わらず参加者、不参加者にアンケート形式の手紙、メール等を使い意見交換を行う 他事業所、ネット等で形式などを参考にする。	6か月
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。